

平成 30 年度 東京グローバル・ユース・キャンプ(TGYC) ～JICAとの連携による体験研修～ 参加者大募集!

東京グローバル・ユース・キャンプ(TGYC)とは

東京グローバル・ユース・キャンプ(TGYC)は、独立行政法人国際協力機構(JICA)と連携して事前研修・宿泊研修等を実施し、「国際社会の一員としての自覚」と「社会に貢献する意欲と主体的な行動力」をもつ人材の育成を目指しています。

「世界の様々な文化や価値観に触れてみたい」、「今、世界で何が起きているか知りたい」、「自分を見つめ直したい」、「何か新しいことに挑戦してみたい」、そんな意欲と好奇心のある高校生を求めています。

この夏、新しい仲間と一緒に、体験と発見の6日間を過ごしませんか？

どんな研修をするの？

昨年度は、以下の4つのテーマをもとに研修を行いました。

「世界を見る」

- ・一枚の写真から異文化を読み解こう
- ・豊かさについて考えよう

「つながる・つなげる」

- ・相手と自分の価値観を知ろう
- ・対話力を高めよう



「自分と他人の能力を引き出す」

- ・語学研修（英語等） ・途上国疑似体験
- ・野外アクティビティ

「未来を創る」

- ・青年海外協力隊員のシミュレーション
- ・「アクションプラン」の作成・実践

今年度の予定

◎入校式・事前研修（全日）

7月8日（日）教職員研修センター（水道橋）

◎宿泊研修（5泊6日）

第Ⅰ期 8月13日(月)～18日(土) 又は

第Ⅱ期 8月20日(月)～25日(土)

JICA 駒ヶ根訓練所（長野県駒ヶ根市）

◎修了式・成果報告会（全日）

9月23日（日）教職員研修センター（水道橋）

募集概要

募集人数	第Ⅰ期・第Ⅱ期 それぞれ40名（計80名）
対象者	都立高等学校生徒、都立中等教育学校後期課程に在籍し、「推薦基準」に基づき校長が推薦する者
推薦基準	<ul style="list-style-type: none"> ・在籍校での出席状況が良好である者 ・東京グローバル・ユース・キャンプの内容を理解し、使命感をもって全ての研修に参加し、修了まで取り組む意欲を有する者 ・東京グローバル・ユース・キャンプに参加する人材としてふさわしいと認め、推薦する者
応募方法	5月上旬に募集要項を学校に送付します。東京都教育委員会HPでも閲覧することができます。 学校を通して応募してください。
選考方法	提出書類（自己PRカード・作文・推薦書）で選考します。 ※同一年度に次世代リーダー育成道場と東京グローバル・ユース・キャンプ両方の事業への参加はできません。応募は両方できますが、 <u>次世代リーダー育成道場の研修生として決定した場合は、東京グローバル・ユース・キャンプ研修生の対象外となります。</u>
参加費用	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊研修については無料です（宿泊費、東京都教職員研修センター(水道橋)から会場までの交通費、食費、保険料等を含みます）。 ・東京都教職員研修センター(水道橋)での入校式・事前研修、修了式・成果報告会の出席、宿泊研修の集合及び解散に伴う交通費等は自己負担です。

募集要項は、5月上旬に東京都教職員研修センターホームページの「次世代を担う人材の育成」内に掲載します。(http://www.kyoiku-kensyu.metro.tokyo.jp/10jidai/global/index.html)

主催：東京都教育委員会

JICA(独立行政法人国際協力機構)は、日本のODA(政府開発援助)の実施機関として、途上国の貧困、環境問題、感染症、紛争など開発における様々な問題解決に取り組んでいます。グローバル化が進み、相互依存関係が深まる世界において、ODAは世界の平和と発展に貢献しており、JICAはODA事業の一環として、青年海外協力隊(JOCV)をはじめとするボランティアの派遣等を行っています。

青年海外協力隊は、開発途上国で現地の人々と共に生活し、途上国の課題解決に貢献する活動を行っています。帰国後、隊員経験者は日本をはじめ様々な国や分野で、海外での活動経験を生かして貢献しています。



写真提供 JICA/今村 健志朗、佐藤 浩治、久野 武志

Q&A

Q 宿泊施設はどんなところですか？

A 実際に青年海外協力隊員が派遣される前に70日間の合宿訓練を行っている訓練所で、自然が豊かな場所にあります。詳細は駒ヶ根訓練所のWebサイトをご覧ください。

Q 青年海外協力隊員と同じプログラム内容ですか？

A 同じではありません。青年海外協力隊派遣前プログラムを基に、高校生向けの特別プログラムを実施します。



Q 青年海外協力隊員の人たちと交流できますか？

A 食事や休憩時間にお話を聞いたり、様々なアドバイスをもらったりします。青年海外協力隊候補生との語学交流で、派遣国の言葉を教えてもらったり、スポーツ交流で汗を流したりします。これらの交流を通して、人間関係を築く力を付けたり、異文化や国際貢献活動について理解を深めたりします。

Q 英語ができなくても大丈夫ですか？

A 大丈夫です。英語ワークショップはレベルに応じた10人前後のグループで編成します。自分の感じたことや考えたことを分かりやすく相手に伝えるコミュニケーションの一つとして、英語を使った表現の仕方を学びます。

参加者の声

- ・一人一人価値観が違うけれども、認め合うことの大切さを学びました。
- ・世界の貧困問題や環境問題などを、様々な視点で捉えて考えることができるようになりました。
- ・これから、国際貢献につながる活動に積極的に取り組んでいきたいです。
- ・このキャンプをきっかけに、将来の具体的な目標が見えてきました。

